



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 日本ルツボ株式会社  
コード番号 5355 URL <https://www.rutsubo.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 正志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理部長 (氏名) 広野 玲緒奈

TEL 03-3443-5551

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,405	1.1	178	12.5	226	9.3	128	21.3
2022年3月期第3四半期	6,476	14.8	204	221.7	249	111.7	162	46.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 165百万円 (35.7%) 2022年3月期第3四半期 256百万円 (27.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	19.05	
2022年3月期第3四半期	24.20	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	10,779	5,282	49.0	785.48
2022年3月期	11,077	5,186	46.8	771.08

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 5,282百万円 2022年3月期 5,186百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		10.00	10.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	2.0	190	25.6	250	20.5	170	19.9	25.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	7,045,200 株	2022年3月期	7,045,200 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	319,455 株	2022年3月期	319,455 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	6,725,745 株	2022年3月期3Q	6,725,757 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大抑制を図りつつ経済活動の正常化が進んだことで企業の業況判断が持ち直し、企業収益は改善基調となっております。先行きについては、各種の政策効果もあって景気が回復に向かうことが期待されますが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、原燃料価格の高騰や急激な為替変動のリスク、中国における感染動向などを十分に注視する必要があります。

当社グループを取り巻く関連業界におきましては、主要取引先である自動車関連産業は、半導体不足回復の遅れや海外景気の下振れ等から、厳しい操業状況が続きました。国内生産台数・販売台数は依然として低水準で推移しており、先行きも予断を許さない状況にあります。

鉄鋼産業は、国内粗鋼生産の前年同月比減少が継続しており、引き続き自動車部門の動向及び原燃料価格の高騰や為替変動等による更なる下振れリスクに注意を払うことが必要であります。

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は64億5百万円と前年同四半期比1.1%減少いたしました。利益面でも、営業利益は1億7千8百万円（前年同四半期比12.5%減）、経常利益は2億2千6百万円（前年同四半期比9.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2千8百万円（前年同四半期比21.3%減）と、それぞれ減少いたしました。

### ①事業の分野別業績

casting事業は、主力製品の販売強化により、売上高32億2千8百万円（売上高比率50.4%）と前年同四半期比1.5%の微増となりました。

鉄鋼事業は、当社がメンテナンスを担当していた高炉の閉鎖の影響が大きく、売上高5億3千4百万円（売上高比率8.3%）と前年同四半期比23.2%減少いたしました。

工業炉事業は、各種溶解炉が増加し大型案件の完工もあって、売上高4億8千万円（売上高比率7.5%）と前年同四半期比10.2%増加いたしました。

環境・工事事業は、民間焼却設備を中心に安定した受注を確保し、売上高14億1千9百万円（売上高比率22.2%）とほぼ前年同四半期並みとなりました。

不動産事業は、本社テナントビルの在宅者増加による賃料低下を主因に、売上高2億8千6百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比3.4%減少いたしました。

塗料循環装置事業は、大型案件の進捗が寄与し、売上高4億5千5百万円（売上高比率7.1%）と前年同四半期比2.3%増加となりました。

### ②セグメントの業績

耐火物事業の売上高は37億5千7百万円（売上高比率58.7%）と前年同四半期比1.3%減少しましたが、営業利益は2億4千9百万円と前年同四半期比19.5%増加いたしました。エンジニアリング事業の売上高は19億5百万円（売上高比率29.7%）と前年同四半期比1.2%減少しましたが、営業利益は2億2千7百万円と前年同四半期比9.0%増加いたしました。不動産事業の売上高は2億8千6百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比3.4%減少し、営業利益も1億7千1百万円と前年同四半期比4.4%減少いたしました。その他事業の売上高は4億5千5百万円（売上高比率7.1%）と前年同四半期比2.3%増加しましたが、営業損失は2千4百万円（前年同四半期は3百万円の営業利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比4千万円（0.6%）減少し、65億3千4百万円となりました。主として、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比2億5千7百万円（5.7%）減少し、42億4千4百万円となりました。主として、製造設備の減価償却によるものです。

これにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億9千7百万円（2.7%）減少し、107億7千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比8千6百万円（2.6%）減少し、32億9千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比3億7百万円（12.3%）減少し、22億円となりました。主として、長期借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比9千6百万円（1.9%）増加し、52億8千2百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は49.0%（前連結会計年度末は46.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)及び配当予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。